

『コンセント・動力』編

(コンセント・動力)

待機電力の削減

運用改善 メンテナンス チューニング 設備更新

○ 使用していない業務機器等の電源を切れば待機電力を節電できます。

試算例

不使用の業務用機器をこまめに停止すると...

■ 節電効果 : **節電効果 1万円/年** 【高圧電力S単価を適用】
節電電力 約 0.9kW
節電電力量 約 420kWh

■ 対策内容 : 不使用機器の停止

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 1台当りの消費電力 × 台数 × 待機率
節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

消費電力: モニター PC×56W×1台/防犯用 85W×1台
ラベラー 1500W×1台
ラッパー 270W×3台

待機率: 各々40%(仮定)

停止時間: PC用モニタ 4.5時間/日 防犯用モニタ 20時間/日

ラベラー・ラッパー 1時間/日

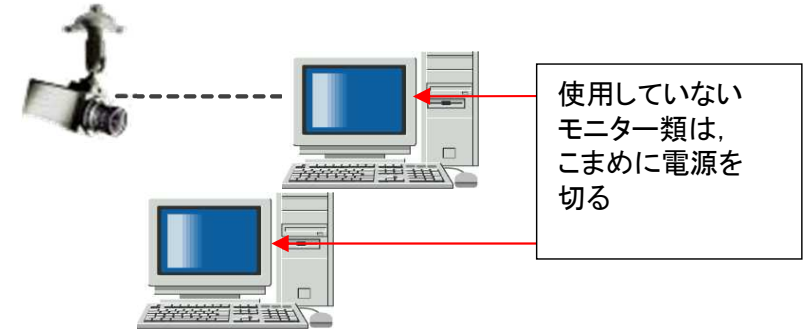
対象日数: 250日/年

ポイント

■ パソコンのモニターやコピー機等であれば省エネモード機能を活用すれば待機電力の節電になります。

■ 連続的に停止できない場合は、可能な範囲でこまめな電源操作をすれば節電できます。(デスクトップパソコンは離席時にモニターだけでも電源を切れば節電になります。)

参考



不在事務室のモニターが点灯



不使用のラベラー電源が「入」

注) 本内容はお客様の運用状況等によって異なる場合がございます